

令和4年度一橋大学入学式 祝辞

令和4年4月3日
LINE 株式会社
上級執行役員
稲垣 あゆみ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族並びにご関係の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

私は2001年に社会学部に入学しました。ITバブルが弾けて終わったタイミングで、中国がWTOに加盟し、これからは中国の時代になると言われた頃です。

私は学生時代、サークルや部活動はせず、いろんな会社やNPOで働きました。ITベンチャーやPRの企業で働いたり、社会起業家を応援するNPOを手伝ったり、韓国や中国にボランティアに行ったり、いま振り返ってみると、本当に濃密な経験を数多くして、いまの自分の基盤になる充実した学生時代を過ごしたと思います。

なぜ、そんなに活動的な学生時代を送ったのかというと、「全幅の人生」にしようという誓いがあったからでした。

「ぜんぶく」は全ての「全」に「幅」と書いて、「ありったけの」という意味で、高校の恩師から「いま皆さんは志望の大学に入るため、将来のために頑張っている。でも受験勉強が終わったら、その時その時に興味を持った事を全力で思いっきりやって全幅の人生を生きなさい。」という想いで贈られた言葉でした。

大学に入ると、その教え通りに、興味を持った事を片っ端からやっていました。色んな活動をしていると、新しく学びたい事がどんどん増えました。そして学んでいくと、それを実践してみたい。さらにそれを実践してみると、成功したり失敗して、また学びたい。そんなスパイラルが繰り返されていきました。

そうしているうちに、私はアジアに関心が強いこと、インターネットや新しいイノベーションに興味があることに気づいていきます。それが「アジアから世界に通じるサービスを作りたい」という夢になり、「LINE」を作る機会を得るのですが、それは一重に「全幅の人生」を掲げて、全力で生きた大学時代があったからです。

将来の予測が不可能だと言われている時代、どんな生き方が正解かなんて誰もわかりません。だからこそ、自分の直感と信念が、自分の人生の羅針盤になっていきます。

みなさんの大学生活は、今日始まったばかりです。大学で新しい知識を学びながら、外にあるたくさんのチャンスにも目を向けてみてください。そして、興味を持ったことに挑戦してください。寄り道したり、仲間と語り合ったり、素敵な恋愛もして「全幅の人生」を謳歌してください。

皆さんが充実した大学生活を送れるよう、応援しています。
改めて、本日は、誠におめでとうございます。